SERIAL BARCODE

ユーザーマニュアル

バーコード作成について

Serial Barcodeでは印刷補正や倍率、エレメント幅・文字間ギャップの調整など作成するバーコードの詳細な設定・変更が可能ですが、設定の仕方によって規格から外れることもあります。バーコードのご使用に関しましては、お客様の責任の範疇で行なって頂きますので、充分ご注意の上お願い致します。

＊弊社製品[DDCSV_サブスク版]、[Numbering Master_サブスク版]と連動することができます。

＊Adobe Illustratorが正常に動作する場合に対応します。他社のプラグインソフトと同時に動作させると、正常に 機能しない可能性がありますので、予めご了承願います。

Auto-generate Your Graphics

BABY UNIVERSE

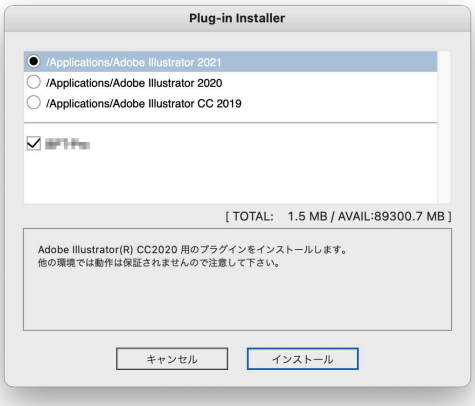
インストール

Macintosh 版

Windows 版

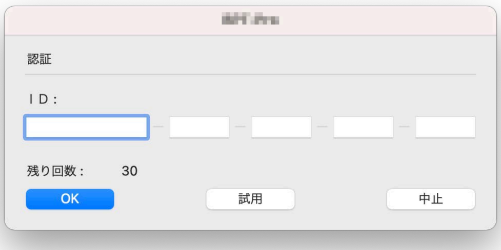
BPT-Proを開くと左図のようになっています。“Installer” 又は“Setup.exe” を ダブルクリックして インストーラを 起動してください。

最初のインストーラの画面が立ち上がったら、「開始」ボタンを押してください。すると左図のような画面となります。インストーラが自動的に適切なディスクを探しますが、目的のイラストレータが別のディスクに入っている場合などは「ディスクを変更」ボタンで変更してください。 適切なディスクが選択されたら「続行」をクリック してください。

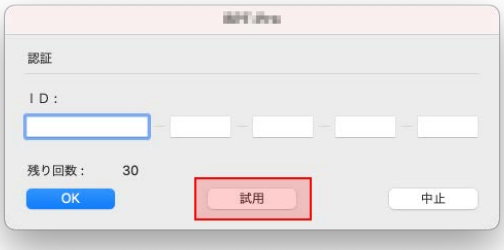


次に、左図のような画面になります。インストーラが、お使いのコンピュータのディスクにインストールされているすべてのイラストレータを自動的に探しますので、インストールしたいバージョンを選択してください。
「インストール」をクリックすると、インストールが始まります。

◆ライセンス認証の方法



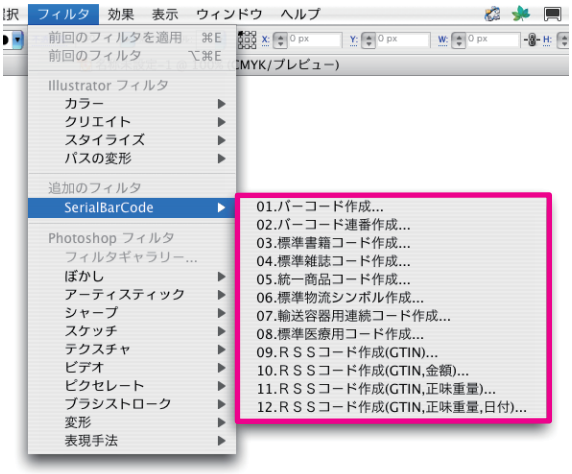
プラグインのツール（機能）を最初に使用する際、左図のような認証ダイヤログが出現します。
メールで通知されたIDを入力したら、”OK”ボタンを押して下さい。
以上でライセンス認証は終了です。



◇デモ版での試用について
デモ版で試用する場合は、"試用"ボタンを押して下さい。通常と同機能で残り回数試用できます。

操作手順

インストールが完了し、イラストレータを立ち上げると、メニューのフィルタにSerial Barcodeが表示されています。Serial Barcodeを選択すると、図のようなメニューが表示されます。
通常はバーコード作成を選択します。
また特殊なバーコードを作成したい場合や詳細な設定が必要な場合はその他のメニューを選択し、目的にあったバーコードを作成します。



メニュー概要

バーコード作成：→P.5参照
設定が既に済んでいる場合など通常はこちらを選択して下さい。

バーコード連番作成：→P.6参照
複数のバーコードを自動レイアウトしたい時はこちら選択します。
また連番バーコードやシリアルナンバーを入れたい時もこちらを使用します。

統一商品コード作成：→P.7参照
通常JANコードと呼ばれる商品コードの設定ウィザードです。

標準医療用コード作成：→P.11参照
標準医療用コード作成の為の設定ウィザードです。

標準雑誌コード作成：→P.8参照
雑誌用バーコード作成の為の設定ウィザードです。

標準書籍コード作成：→P.9参照
書籍用バーコード作成の為の設定ウィザードです。

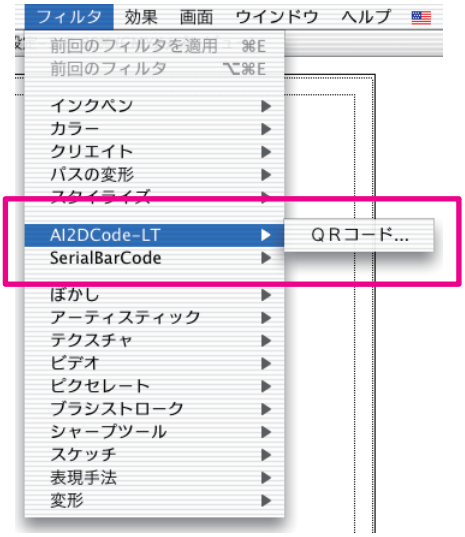
標準物流シンボル作成：→P.10参照
段ボールなど物流用バーコード作成の為の設定ウィザードです。

輸送容器用連続コード作成：→P.10参照
通常EANコードと呼ばれ、輸送容器用連続コード作成の為の設定ウィザードです。

RSSコード作成：→P.12～P.14参照
各種RSSコード作成の為のウイザードです。

―

QRコード作成：→別ファイル AI2DCode-LT2.pdf 参照
QRコード（二次元バーコード）をご使用の場合は、AI2DCode-LT2を選択して下さい。



バーコード作成

Serial Barcode／バーコード作成…
Serial Barcodeのメイン設定画面です。直接コードを作成する場合や、詳細な設定などに使用します。

各項目の説明

コード種類:
コードの種類を選択します。20種類のコードから選択できます。
コードの種類について→P.12参照

倍率:
各コードの標準を1倍とし、0.2～2.0倍まで選択できます。

モジュール高さ:
モジュールの高さを変更します。デフォルトの高さに固定する場合は、下の「モジュールの高さの固定」にチェックをして下さい。

エレメント幅1～3:
バーコードのエレメントの幅をそれぞれ設定できます。変更してしまった後、デフォルトの値に戻すには左下の[出荷時設定]をクリックして下さい。
なお、エレメント比が固定されているバーコードは変更ができません。

文字間ギャップ:
文字間のギャップを指定します。
エレメント幅・文字間ギャップについて→P.7参照

目視用文字の表示:
バーコード下部に目視用文字の表示・非表示を設定します。「コード：」の入力欄に入力した内容がそのまま表示されます。

アウトラインで作成:
バーコードのバーのオブジェクトデータをアウトラインで作成します。チェックを外すとバーを線のデータとして作成します。
（線で作成するとデータ用量が小さくなります）

印刷補正：
印刷状況によって太り分の補正ができます。「%」と「mm」を選択することができ、0.001mmまでの詳細な設定が可能です。

コード：
バーコード化する文字列を入力します。

アイテム：
バーコードの上部にアイテム名を表示します。空欄のままだとアイテム名は非表示になります。

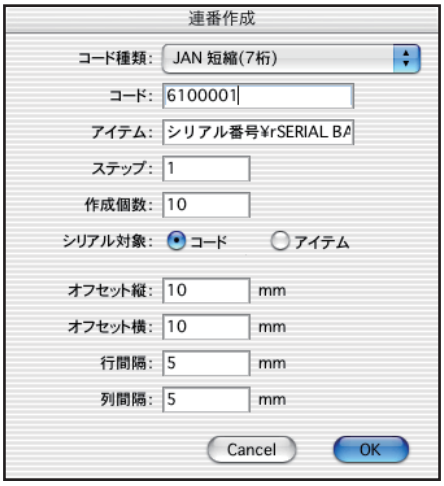
英数フォント：
作成する英数字に使用するフォントを指定します。
※WindowsとMacintosh互換のフォントを使用した時などは、?¥マークなどの記号が文字化けする場合があります。
ご使用の環境に合わせて{Win}ボタンか{Mac}ボタンを選択して下さい。

漢字フォント:
作成するに全角文字部分に使用するフォントを選択します。

出荷時設定:
設定をデフォルトの初期設定に戻します。

バーコード連番作成

複数のバーコードを自動レイアウトしたい時はこちら選択します。
また連番バーコードやシリアルナンバーを入れたい時もこちらを使用します。



連番作成設定

コードの種類:
複数出したいコードの種類を選択します。

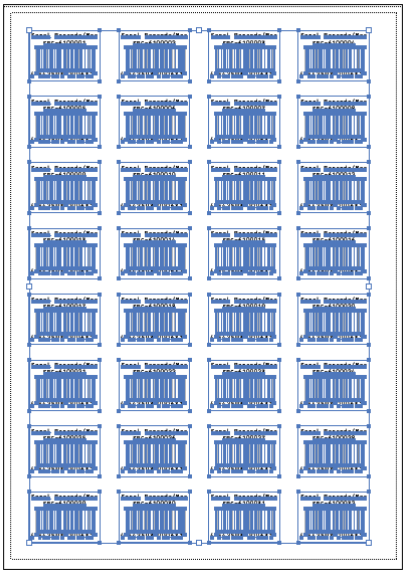
コード:
バーコードにしたいコード番号を記入します。

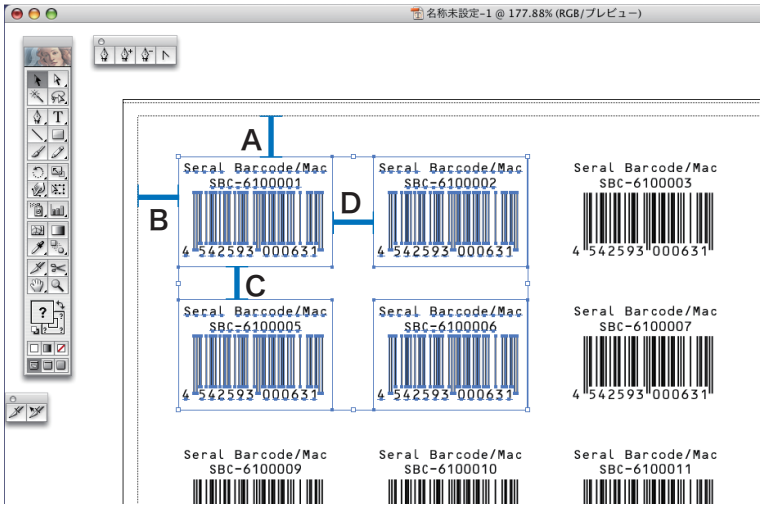
アイテム:
バーコードの上に数字や文字を挿入したい場合にはこちらに記入します。こちらのアイテムを連番(シリアル番号)としたい場合は、
例:SBC-6100001のように記入します。

ステップ数:
連番の増分を設定します。通常は1となります。
また0とすると同じバーコードが複数作成できます。同じバーコードを自動レイアウトしたい時には非常に便利な機能です。

作成個数:
作成するバーコードの数を指定します。

シリアル対象:
連番のバーコードを作成するか、アイテムの連番を作成するか決めます。連番のバーコードは在庫管理に非常に便利な機能です。
バンドルソフト「在庫管理ツール」と併用するとさらに便利にお使い頂けます。





オフセット縦:A
イラストレータ上で設定したページ分割線からの縦の余白(マージン)を設定します。

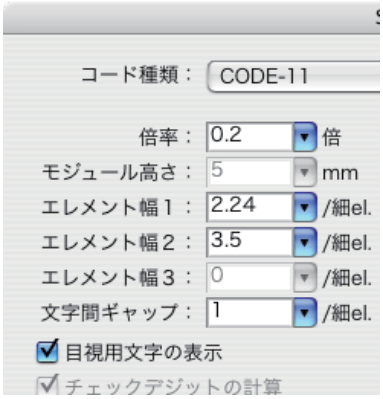
オフセット横:B
イラストレータ上で設定したページ分割線からの横の余白(マージン)を設定します。

行間隔:C
バーコードの周りの余白(クワイエットゾーン)からの縦の間隔を設定します。

列間隔:D
バーコードの周りの余白(クワイエットゾーン)からの横の間隔を設定します。

エレメント幅・文字間ギャップの調整

自社の規格や、印刷スペースに収まらない場合等には、エレメント幅・文字間ギャップの調整ができます。それぞれの規格表等をご参考の上、変更下さい。
間違って値を変更してしまった場合等には、[出荷時設定]をクリックしデフォルトの状態へ戻して下さい。



例）NW-7／CODE-39　MIL規格

CPI	細バー幅	細バー幅	許容誤差値	細バー・太バー比率
9.4	0.190mm	0.427mm	0.044mm	1:2.24
8.6	0.203mm	0.508mm	0.055mm	1:2.5
7.4	0.254mm	0.559mm	0.058mm	1:2.2
6.3	0.254mm	0.726mm	0.088mm	*1:3
5.7	0.305mm	0.762mm	0.083mm	1:2.5
5.4	0.292mm	0.876mm	0.101mm	*1:3
4.8	0.406mm	0.813mm	0.081mm	1:2
3.9	0.406mm	1.219mm	0.140mm	*1:3
3.0	0.533mm	1.600mm	0.184mm	*1:3
2.3	0.762mm	1.905mm	0.207mm	1:2.5
1.7	1.016mm	2.540mm	0.276mm	1:2.5

統一商品コード作成

Serial Barcode／統一商品コード作成…
JIS規格の流通用コードのJANコードを作成する為の設定ウィザードです。
…JAN 標準（12桁）

メーカーコード：
通常は流通コードセンター承認のメーカーコードを入れます。

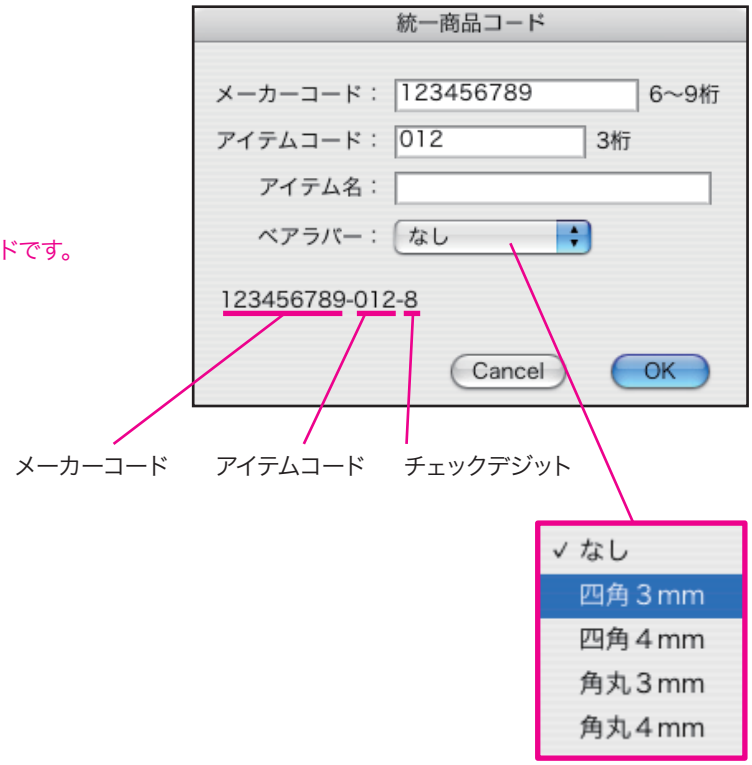
アイテムコード：
メーカー内で割り振った商品別のコードを入れます。

アイテム名：
バーコード上部に文字を入れる場合はここに入力します。

ベアラバー：
ベアラバーを表示する場合、ポップアップメニューから種類を選択します。

四角3mm

角丸3mm



標準雑誌コード作成

4910244220934
00270

雑誌用バーコード作成の為の設定ウィザードです。(ISBN JAN)

雑誌コード:
改正前か現行版(2004年6月改正後)かを設定します。

発行形態:
週刊誌や月刊誌などの発行形態を指定します。

書名記号:
三桁の書名記号を入力します。

フラグ:
発行週などにより定められた一桁の数値を入力します。

発行月/号:
発行月を入力します。

発行年:
発行年を入力します。

通巻番号:
ここは固定となり入力できません。

価格:
税抜きの価格を入力します。

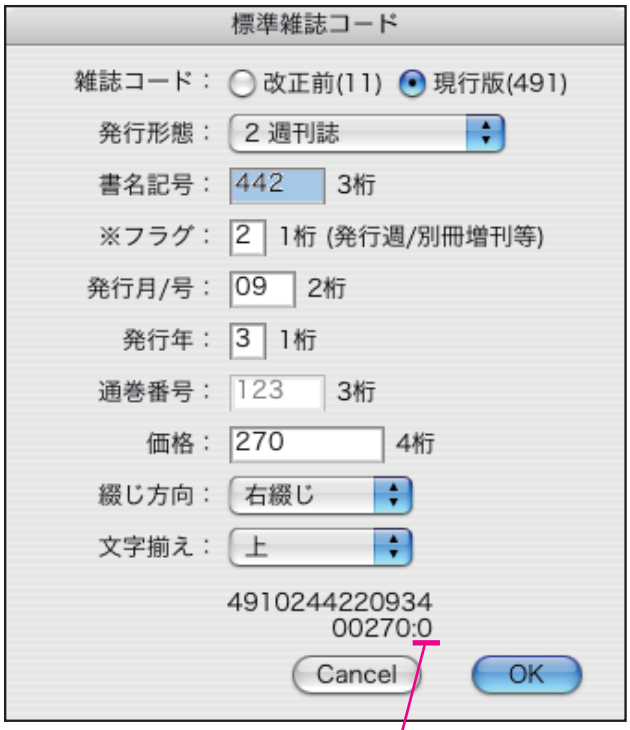
綴じ方向:
コードのテキスト表示を右側か左側か選択します。

文字揃え:
バーコードと目視用テキストの揃えを上/中/下から選択します。

→上

→中

→下



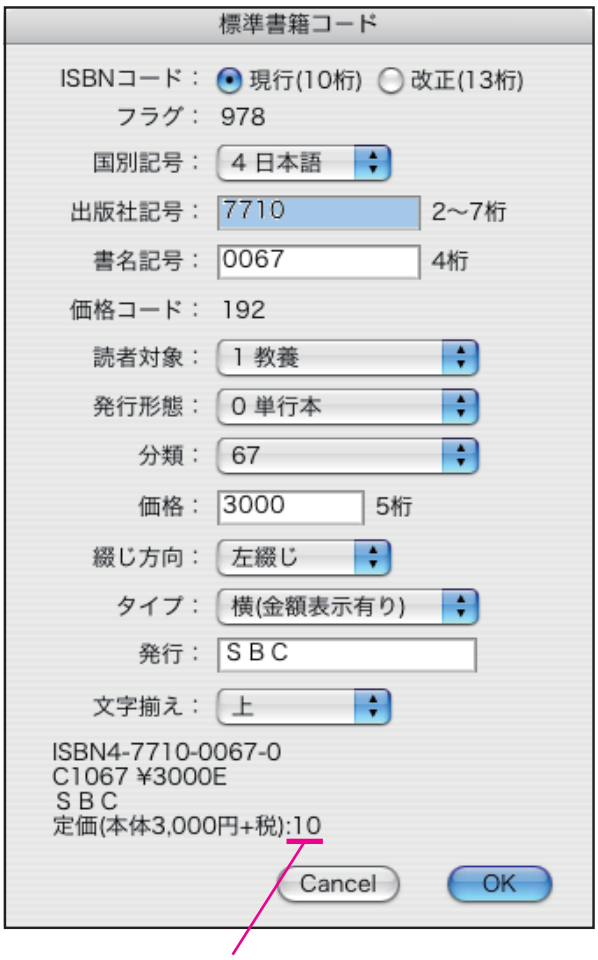
文字揃えの情報です。作成されるコードには表示されません。

標準書籍コード作成

ISBN4-7710-0067-0
C1067 ¥3000E
ＳＢＣ
定価（本体3,000円+税）

9784771000674
1921067030009

書籍用バーコード作成の為の設定ウィザードです。(ISBN JAN)



文字揃えの情報です。作成されるコードには表示されません。

ISBNコード:
現行版か改正版(2007年改正)かを設定します。

フラグ:
ここは固定となっております。

出版社記号:
出版社毎に割り当てられたコードを記入します。

書名記号:
四桁の書名記号を記入します。

価格コード:
ここは固定となっております。

読者対象:
読者ターゲットを選択します。

発行形態:
単行本や文庫本などの書籍の形態を選択します。

分類:
書籍の分類を選択します。

価格:
税抜きの価格を入力します。

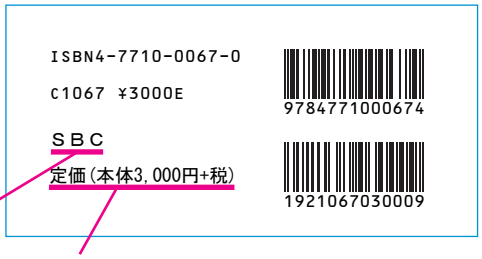
綴じ方向:
コードのテキスト表示を右側か左側か選択します。

タイプ:
バーコードと目視用テキストのレイアウトタイプを選択します。また金額表示等の有無の選択をします。

発行:
発行社名等、テキスト表示したい場合に入力します。

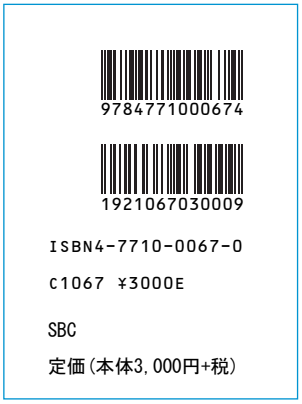
文字揃え:
バーコードと目視用テキストの揃えを上／中／下から選択します。

タイプ:横(金額表示有り)



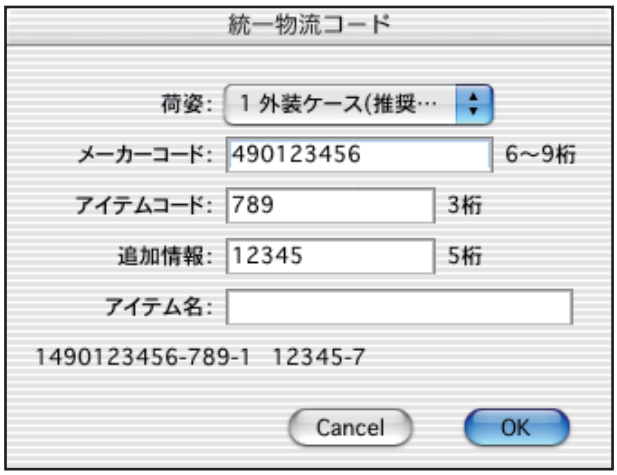
発行　　金額表示

タイプ:縦(金額表示有り)



標準物流シンボル作成

段ボールなど物流用バーコード作成の為の設定ウィザードです。
…2 fo 5(UPC CASECODE)



標準物流シンボル作成:
段ボールなど物流用バーコード作成の為の設定ウィザードです。

荷姿:
単品や内装および外装を選択します。

メーカーコード:
メーカーコードを記入します。

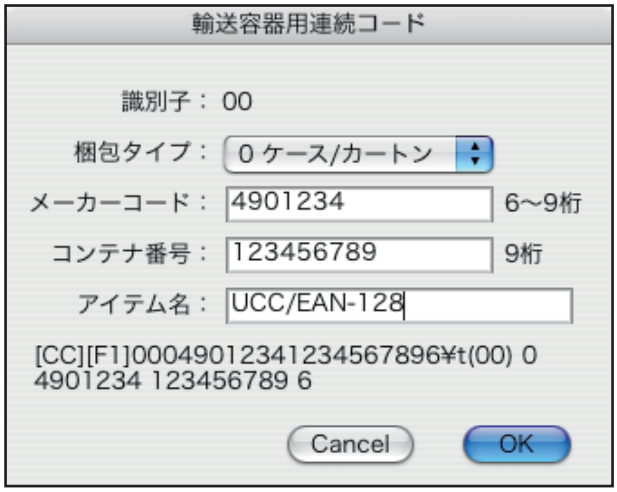
アイテムコード:
三桁のアイテムコードを選択します。

追加情報:
5桁の追加情報を入力します。
するとアドオンバージョンのバーコードがもう一つ追加されます。

アイテム名:
バーコード上部に文字を入れたい場合はこちらに記入して下さい。

輸送容器用連続コード作成

輸送容器用連続コード作成の為の設定ウィザードです。
…Code128(UCC/EAN)



識別子:
こちらは通常00となります。変更したい場合は、次のバーコード作成画面で変更可能です。

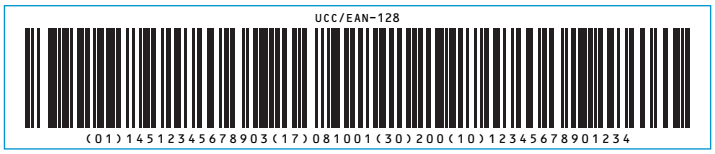
梱包タイプ:
ケースやパレットおよびコンテナ等の梱包タイプを選択します。

メーカーコード:
メーカーコードを記入します。

コンテナ番号:
コンテナ毎に割り当てられた固有のコードを記入します。

アイテム名:
バーコード上部に文字を入れたい場合はこちらに記入して下さい。

標準医療用コード作成



標準医療用コード作成の為の設定ウィザードです。
…Code128(UCC/EAN)

識別子:
こちらは通常01となります。変更したい場合は、次のバーコード作成画面で変更可能です。

梱包タイプ:
ケースやパレットおよびコンテナ等の梱包タイプを選択します。

メーカーコード:
メーカーコードを入力します。

アイテムコード:
アイテムコードを入力します。

有効期限:
有効期限を入力します。

数量:
数量を入力します。

ロット:
ロットNo.を入力します。

シリアル:
シリアルNo.を入力します。

アイテム名:
コード上部にテキスト情報を表示する場合に入力します。

Code128 キャラクタ構成

FNC1などが必要な場合、医療用又は輸送容器用のウィザードで一旦作成したものを、バーコード作成の画面で下記を参照に編集することをお勧めします。バーコード下部の目視用文字と、バーコード化されるコード用の文字の書式が異なるので、"コード用の文字"¥t"目視用の文字"という書式になっております。

[CA]…CODE Aに変更(コードの先頭にある場合はSTART CODE A)
[CB]…CODE Bに変更(コードの先頭にある場合はSTART CODE B)
[CC]…CODE Cに変更(コードの先頭にある場合はSTART CODE C)
[F1]…FNC1(ファンクションキー)
[F2]…FNC2
[F3]…FNC3(※[F2][F3]はCODE C では使えません)
[CS]…SHIFT([CA][CB]の時、[CS]の次の続く文字のみを各々[CB][CC]に変更できます)

RSS コード

1998年にISO委員会に申請されたRSS(Reduced Space Symbology)コードです。EAN UCCシンボルの派生バージョンで、14桁のグローバル・トレード・アイテム・ナンバー(GTIN)の値で構成されています。

RSSコード作成の為の設定ウィザードです。

コード種別:
RSS-14
RSS Limited
RSS Expanded
RSS-14 Truncated
RSS-14 Stacked
RSS-14 Stacked Omnidirectional(RSS-14 Omnidirectional)
から選択できます

識別子:
こちらは通常01となります。変更したい場合は、次のバーコード作成画面で変更可能です。（*ただし、

梱包タイプ:
ケースやパレットおよびコンテナ等の梱包タイプを選択します。

メーカーコード:
メーカーコードを入力します。

アイテムコード:
アイテムコードを入力します。

RSS コードの主な種類

RSS-14

RSS Stacked

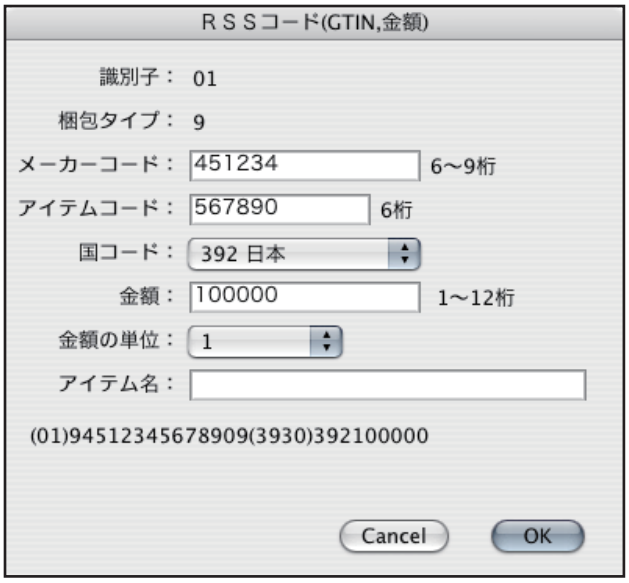
RSS Limited

RSS Expanded

RSS-14 Truncated

RSS-14 Stacked Omnidirectional
(RSS-14 Omnidirectional)

RSS コード (GTIN, 金額) 作成



RSSコード (GTIN, 金額)作成の為の設定ウィザードです。

識別子:
こちらは通常01となります。変更したい場合は、次のバーコード作成画面で変更可能です。

梱包タイプ:
ケースやパレットおよびコンテナ等の梱包タイプを選択します。

メーカーコード:
メーカーコードを入力します。

アイテムコード:
アイテムコードを入力します。

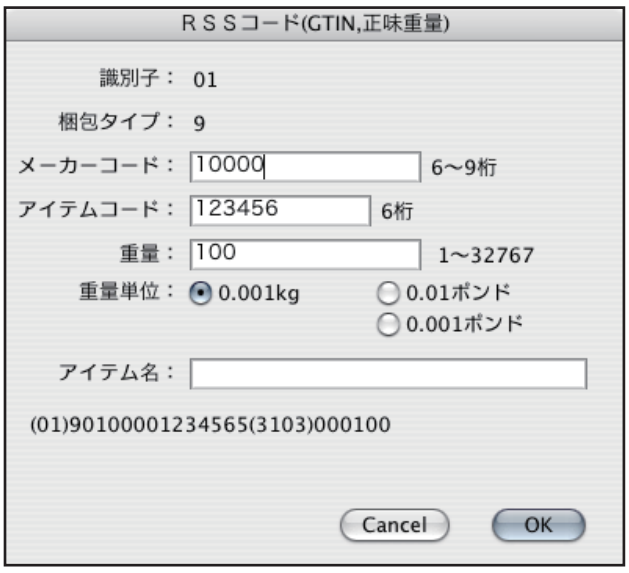
国コード:
国コードを入力します。

金額:
金額を入力します。

金額の単位:
金額の単位を入力します。

アイテム名:
コード上部にテキスト情報を表示する場合に入力します。

RSS コード (GTIN, 正味重量) 作成



RSSコード (GTIN, 正味重量)作成の為の設定ウィザードです。

識別子:
こちらは通常01となります。変更したい場合は、次のバーコード作成画面で変更可能です。

梱包タイプ:
ケースやパレットおよびコンテナ等の梱包タイプを選択します。

メーカーコード:
メーカーコードを入力します。

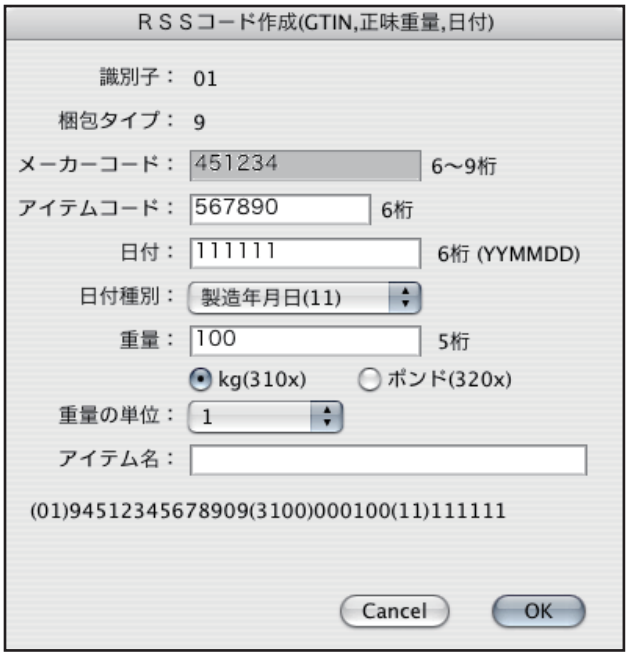
アイテムコード:
アイテムコードを入力します。

重量:
重量を入力します。

重量単位:
重量の単位を入力します。

アイテム名:
コード上部にテキスト情報を表示する場合に入力します。

RSS コード (GTIN, 正味重量 , 日付) 作成



RSSコード (GTIN, 正味重量, 日付)作成の為の設定ウィザードです。

識別子:
こちらは通常01となります。変更したい場合は、次のバーコード作成画面で変更可能です。

梱包タイプ:
こちらは通常9となります。変更したい場合は、次のバーコード作成画面で変更可能です。

メーカーコード:
メーカーコードを入力します。

アイテムコード:
アイテムコードを入力します。

日付:
日付を入力します。

日付種別:
製造年月日(11)
包装年月日(13)
保証/品質期限(15)
有効/使用期限(17)
から選択できます

重量:
重量を入力します。

重量の単位:
重量の単位を入力します。

アイテム名:
コード上部にテキスト情報を表示する場合に入力します。

「※ご注意：RSS の２次元コードは、本製品 Serial Barcode では未対応となります。

バーコードの種類

JAN
1978年流通業界の共通商品シンボルのためにJIS-X-0501として規格化されたもので、ヨーロッパ規格のEANと調和しています。13桁の標準バージョンと8桁の短縮バージョンがあります。

UPC-A, UPC-E, UPC-アドオン
UPCコードは、Uniform Product Code Council Inc.によってアメリカの小売業向けの共通シンボルとして制定されたものです。Regularタイプの UPC-A は12 桁で、メッセージから余分な0を排除した Zero Suppression タイプの UPC-E は6桁です。

2 of 5 (IDENTICON-INDUSTRIAL)
通称、インダストリアル 2 of 5 と呼ばれるもので、もともと工業用ですが、低密度なので、他のコードが利用される事が多く成っています。現在は、段ボール印刷で物流管理用に使われています。

2 of 5 (IATA/WALLACE)
IATA 国際空輸送協会が、航空貨物の管理に利用しています。手荷物引換証等にも印刷されております。

2 of 5 (COMPUTER IDENTICS)
2 of 5 (IATA/WALLACE) と同じですが、可変長で低密度です。

2 of 5 (MATRIX)
オランダのニーフ(Nieaf)社によって開発されたバーコードで、CODE11 や CODE2 of 5 のバリエーションです。現在でも多用途に利用されています。

2 of 5 (NEC/COOP)
日本電気(株)が開発したバーコードで、生協に使われている事から、生協コードとも呼ばれます。

2 of 5 (INTERLEAVED)
標準物流シンボル(アメリカでは、CASE CODE)等として、商品物流用に使われています。

2 of 5 (UPC CASECODE)
標準物流シンボル(通称 ITF)です。2 of 5 (INTERLEAVED)と同じですが、ベアラバーと呼ばれる、黒枠がついております。固定長で、ITF16(16桁拡張) と、ITF14(14桁 標準)、ITF6(6桁 アドオン) とあります。

CODABAR(NW7)
モナークマーキング社が、1972年に開発したシンボルで、JIS-X-0503として規格化されています。血液銀行の管理、宅配便の配送、図書館での貸し出し管理などに採用されています。比較的単純な構成と高精度の印刷を要求しない長所があります。

Code39
1975年インターメック社が開発し、JIS-X-0503として規格化されています。信頼性が高いシンボルであることから、主に産業分野の作業指示票や現品ラベルに使用されています。

Code11
インターメック社が、1977年に開発した高密度のディスクリート型のバーコードで、15キャラクタ/インチの情報化密度を持っています。AT&T 社の通信機器や部品等に使用されています。

Code93
インターメック社が、1982年に開発したバーコードで、USS-CODE93として規格化されているシンボルです。

Code128
Code128は、コンピュータ アイデンティクス社が、1981年にパソコンの入力対応という要望のため開発したバーコードで、USS-CODE128として規格化されています。

CODE-128(UCC/EAN)
アメリカの、UPC CASECODE や、UCC 、EAN(日本) の物流の補足コードとして、UCC/EAN128が1989年に採用されています。

RSS
1998年にISO委員会に申請されたRSS(Reduced Space Symbology) コード。EAN UCCシンボルの派生バージョン。14桁のグローバル・トレード・アイテム・ナンバー(GTIN)の値で構成されています。

RSS-14
UCC/EANの標準商品コードとして使用出来る様に14桁のGTINを作成出来るバーコード。最小シンボルサイズは、5.6mm(H)×16.3mm(L)である。

RSS Limited
RSSシンボルの中で最も小さなシンボル。パッケージインジケータ（物流識別子）を 0又は1に限定したバーコードです。CDはモジュラス89を使用します。

RSS Expanded
標準商品コードの他に重量等の補正情報もエンコードが出来るシンボルです。EAN-128の様にアプリケーション識別子とセットにして連結出来、数字で最大74桁、英字で最大41文字までエンコード出来ます。

RSS-14 Truncated
RSS-14のバー高さに制限を加えたバーコードです。バーの高さの最小値はモジュール幅の13倍となります。

RSS-14 Stacked
印字スペースの少ない商品に対応する為、2段に積み重ね幅を小さくしたバーコードです。

RSS-14 Stacked Omnidirectional
RSS-14 Stackedをオムニスキャナに対応出来る様にしたバーコードです。

＊UPCとはUniversal Product Code=米国の一般製品コードの頭文字からの略号です。

Adobe® Illustrator®用 QRコード作成ソフト

概要

SERIAL BARCODE にバンドルされているQRコード生成ソフトは、 Adobe Illustrator上で簡単に作成することができるプラグインソフトです。
QRコード（Quick Response Code)とは、株式会社デンソーが開発し1994年に発表した二次元コードの一種です。

※QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

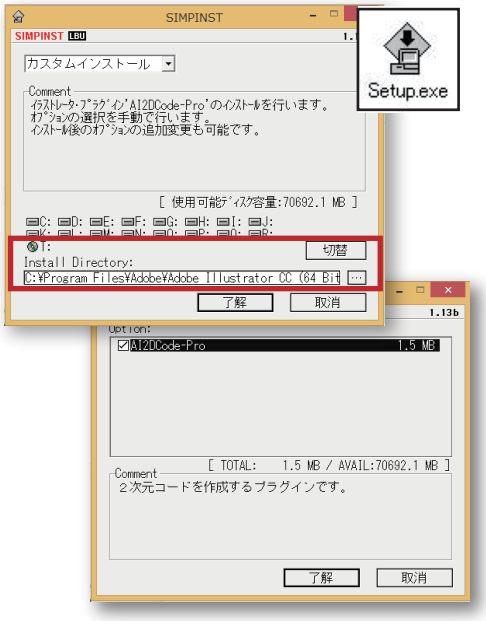
＊他社のプラグインを同時に動作させると、正常に機能しない可能性がありますので、予めご了承願います。

インストール:

【Mac版】
はじめにイラストレータを完全に終了し、
ダウンロードしたフォルダを開き、”Installer”をダブルクリックします。「開始」をクリックします。

左の図の赤枠部分に適切なディスクが自動的に表示されますが、変更したい場合は「ディスクを変更」ボタンをクリックしてください。適切なディスクが選択されたら”続行”をクリックします。

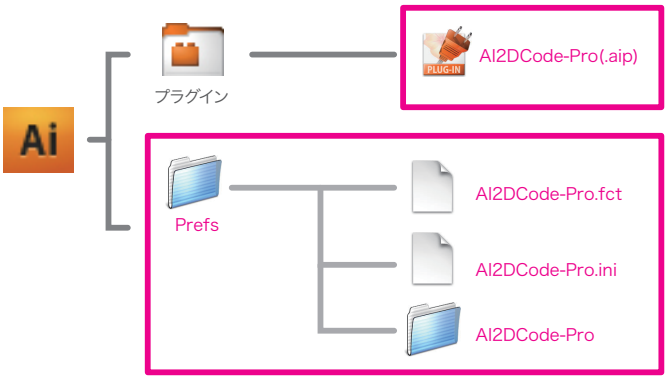
選択したディスクにインストールされているすべてのイラストレータを自動的に探しますので、インストールしたいバージョンを選択してください。”インストール”をクリックすると、インストールが始まります。



【Windows版】
はじめにイラストレータを完全に終了します。
ダウンロードしたフォルダを開き(ZIPファイルは展開してください)、お使いのイラストレータのバージョンのフォルダ内の”Setup.exe”をダブルクリックします。「開始」をクリックします。(読み込みに時間がかかる場合があります。)

左の図の赤枠部分に適切なイラストレータが自動的に表示されますが、他のバージョンのイラストレータに変更したい場合は、切替ボタンを押して選択して下さい。目的のイラストレータが選択されたら、”了解”ボタンを押して下さい。

インストールする内容を確認し、OKボタンを押すとインストールが始まります。



□の部分のデータをインストールする必要があります。

インストーラからうまくインストールできない場合
ご使用のイラストレータに適合したバージョンのフォルダ内の「AI2DCode-Pro」プラグイン本体を、直接バージョンの合ったイラストレータの「プラグイン」の第一階層にドラッグ& ドロップし、「Prefs」フォルダ内のファイルを、パソコン内の下記の「Prefs」フォルダにコピーします。

＊)Prefsは、以下の場所にあります。
Macintosh:user／書類／Adobe／Illustrator／Prefs
Windows:マイドキュメント／Adobe／Illustrator／Prefs

操作手順

インストールが完了し、イラストレータを立ち上げると、イラストレータのメニュー／フィルタの中に[AI2DCode-Pro]が表示されます。

基本機能

誤り訂正レベル：

QRコードは、誤り訂正機能をもっているので、コードの一部に汚れや破損があってもデータの復元が可能です。最大約30%の面積を破損しても復元する事が可能です。L（7%）、M（15%）、Q（25%）、H（30%）のレベルから適切なものをお選びください。

２次元コード連番作成：

セルの個数の指定をします。バージョン１では一辺に21個（21×21）のセルがバージョン２では一辺に25個（25×25）と4セル／辺毎に増加していきます。バージョンは1～40までありオートに設定すると打ち込んだ文字に相当するバージョンを自動設定します。

モード：

使用する文字の設定をします。オート、数字、英数、バイナリ、漢字、混在があります。コードにする文字に設定してください。

セルサイズ：

セルのサイズを指定します。プリンタの解像度や印刷状態によっては、小さいサイズでは読み取りにくくなる場合があります。

マスク選択：

QRコードではデータを配置した状態で一方の色のモジュールが極端に多かったり、位置検出パターンに類似した模様があると、読み込みに支障をきたす恐れがあるため8種類のマスクパターンを用意しその中で最適なものを選べるようになっております。

コード分割：

コード化したいデータを分割して表現する事ができます。最大で16分割可能で、この機能を使うと、細長いエリアでの使用も可能となります。

QRコードプレビュー
作成されるQRコードのプレビューを表示します。

エンコード文字列
コード化されるテキストデータを表示します。ここに直接テキストを入力することができます。

フォント選択
アイテム・目視用文字表示するフォントを選択します。

印刷補正：

印刷状況によって太り分の補正ができます。「%」と「mm」を選択することができ、0.001mmまでの詳細な設定が可能です。

アイテム・目視用文字の表示：

QRコードの上にアイテム名を表示させる事や、コード化させる文字をコードに下に表示させてQRコードを作成する事ができます。

連番作成

QRコードの上にアイテム名を連番にさせる事や、コード化させる文字をコード自身を連番QRコードとして作成する事ができます。
AI2DCode-Proのメニューから[**２次元コード連番作成**]を選択すると、連番作成の設定ができます。

設定値

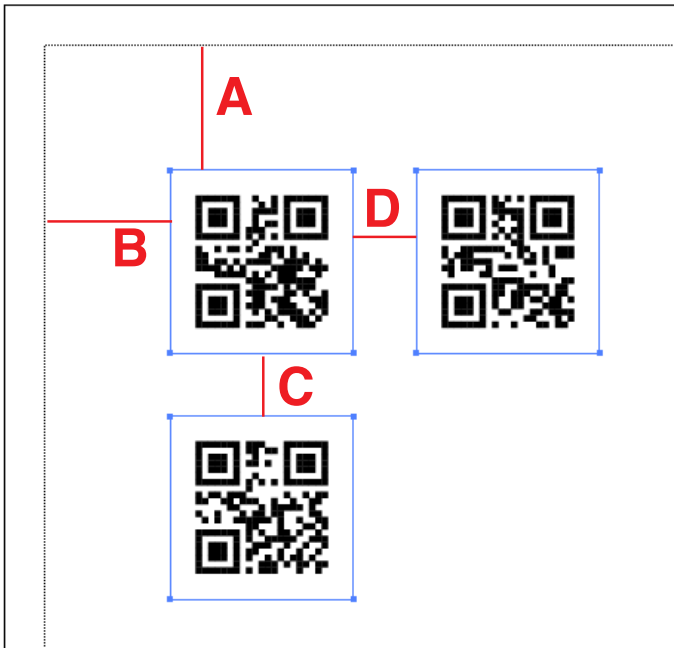
コード:
QRコードとなる内容。

アイテム:
QRコードの上に表示されるアイテム名

ステップ:
連番となる数のステップ数です。
例）ステップ数が1なら001,002,003....
ステップ数が5の場合001,005,010,015....

作成個数:
作成するQRコードの個数

シリアル対象:
コード自身を連番にするか、アイテム名を連番にする対象を選択します。



オフセット縦:A
イラストレータ上で設定したページ分割線からの縦の余白(マージン）を設定します。

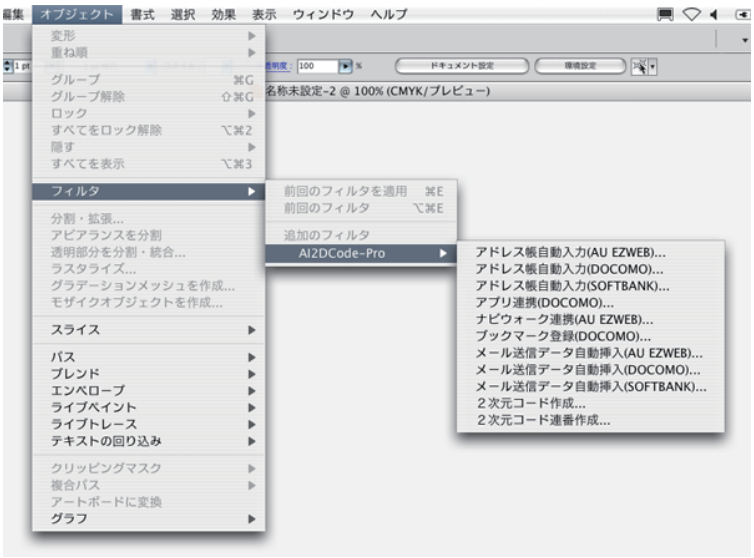
オフセット縦:B
イラストレータ上で設定したページ分割線からの縦の余白(マージン）を設定します。

行間隔:C
バーコードの周りの余白(クワイエットゾーン)からの縦の間隔を設定します。

列間隔:D
バーコードの周りの余白(クワイエットゾーン)からの横の間隔を設定します。

携帯電話アクション機能

QRコードに携帯電話アクション機能を連携させるタグ（テキスト）を入力すると、QRコードから直接アドレス帳登録や、メール送信画面に飛ばすことができます。AI2DCode-Proではそのようなタグ（テキスト）を自動入力することができます。
AI2DCode-Proのメニューからそれぞれ機能を選択して下さい。
※各携帯電話キャリアDoCoMo、SoftBank、auに対応しています。



アドレス帳自動入力
各キャリアのアドレス帳へアドレスの各項目を自動で登録可能。各キャリアを選択して下さい。

アプリ連携
ドコモのiアプリと連携できる機能です。

ナビウォーク連携
auのナビウォークと連携出来る機能です。

ブックマーク登録
ドコモ用携帯にブックマークを登録できる機能です。

メール送信データ自動挿入
各キャリアに対応したメールの各項目を自動で読込可能。各キャリアを選択して下さい。

※DoCoMo用アドレス登録のサンプルです。

※赤い部分のテキストを自動入力します。

携帯電話アクション機能２（コードの作成）

AI2DCode-Proのメニューからアクションを選択して下さい。各アクションごとの入力項目が出てきます。必要項目を入力し、[OK]を押すとQRコード作成の基本画面に行きます。

基本画面のエンコード文字列に各キャリア、アクションのコードが作成されます。

注意点

※携帯電話と連携させるアクション機能のタグ（テキスト）は各キャリア毎（DoCoMo、SoftBank、au）に違いがありますのでご注意下さい。

※携帯電話の機種、キャリアによってはQRコードの『誤り訂正レベル』『バージョン』『コード分割』機能に対応してないものもありますのでご注意下さい。詳しい内容は各携帯電話会社にお問い合わせ下さい。

QRコード作成時の注意

・QRコードの縦横の比率を変えないでください。縦横比を変えると、読み込みに支障をきたします。

・パソコンのディスプレイ上で表示したQRコードはディスプレイの解像度や、歪みにより認識出来ない場合があります。印刷物で出す場合もインクのにじみや、紙の状態により認識しにくい場合があります。

■ SERIAL BARCODEに関するお問い合せ先

※お問い合せは必ず FAX or E-mail でお願い致します。

（株）ベビーユニバース　SBC係

FAX: 0466-55-3001

E-mail: info@baby-universe.co.jp

■最新情報は下記ホームページへ

http://www.baby-universe.co.jp